

○総務省省令第 号

電波法（昭和二十五年法律第百三十一号）に基づき、無線局免許手続規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十五号）の一部を改正する省令を次のように定める。

令和 年 月 日

総務大臣 高市 早苗

次の表により、改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

各 出 題	各 出 題
別表第二号の三 第3 [1 ～14 略] 15 16 の欄は、次によること。 [(1)～(13) 略] (14) 送信機系統図として、半導体、真空管又は集積回路の名称及び用途並びに発振周波数から発射電波の周波数を合成する方法を記載したものを、この別表に定める規格の用紙を用いて提出するものとし、□にレ印を付けること。また、附属装置がある場合は、その諸元及び送信機との関係を記載すること。 ただし、第15条の3第4項の規定の適用がある無線局の場合は、送信機系統図の提出を要しない。 <u>また、現に免許を受けている無線局において、送信機の外部入力端子に附属装置を接続する場合であつて、当該無線局の指定事項に変更がない場合は、送信機系統図（附属装置の諸元を含む）の提出を要しない。</u> [(15) 略]	別表第二号の三 第3 [1 ～14 同左] 15 [同左] [(1)～(13) 同左] (14) 送信機系統図として、半導体、真空管又は集積回路の名称及び用途並びに発振周波数から発射電波の周波数を合成する方法を記載したものを、この別表に定める規格の用紙を用いて提出するものとし、□にレ印を付けること。また、附属装置がある場合は、その諸元及び送信機との関係を記載すること。 ただし、第15条の3第4項の規定の適用があるが適用されることとなる場合は、送信機系統図の提出を要しない。 [(15) 同左]
備考 表付の [] の記載は任意である。	

附 則

この省令は、公布の日から施行する。